



# 「病院へのかかり方」が 自分本位になっていませんか？

〝自分優先、は、やがて自分の負担増につながります。

病院の窓口で支払う医療費は総額の1~3割、残りは共済組合が負担しています。ですが、もとはみなさんの保険料です。ムダな医療費が増えると、やがてみなさんの負担増につながりますので、一人ひとりが適正な受診を心がける必要があります。

## こんな行動がムダにつながります！

1



大病院は、高度な医療を必要とする患者が優先です。そのため、紹介状なしで400床以上の大病院にかかると、5,000円以上の特別料金(保険外)がかかります。

2



同じ病気で病院をはしごすると、医療費はかかった病院の数だけ増えます。同じ検査・同じ薬の処方が繰り返されれば、これほどムダな医療費はありません。

3



診療時間外に受診すると、医療費が割り増しになります。加算のつかない時間帯の受診を心がけましょう。※時間外(おおむね8時前と18時以降)、休日(日曜日・祝日・年末年始)、深夜(22時~6時)などの加算があります。

## 「かかりつけ医」がいれば、医療費のムダは少なくなります

医療費のムダは、漠然とした不安から起こりやすくなります。医師と患者の信頼関係は、コミュニケーションの中で生まれますので、疑問や不安な点を積極的に伝えられるかかりつけ医をつくるようにしましょう。

子どもの医療費は、**無料ではありません**

子どもの医療費は、多くの自治体で助成があります。しかし、自治体の助成はあくまで自己負担分のためのため、残りの医療費は、共済組合が負担しています。また、6歳未満の子どもの場合は、乳幼児・時間外加算の割り増しなど、医療費が大人よりも高額になります。



夜間や休日、子どもの病気で受診するかどうか迷ったら… P9の「こころとからだの健康相談」をご利用ください。>>

## 人事異動

(令和元年10月1日付)

氏名	異動後	異動前	氏名	異動後	異動前
北瀬 英明	事務局次長 ライフプラン協会事務局長	事務局次長 (兼)総務課長	浅野 慶治	総務課課参事	年金課主幹
新谷 喜弘	総務課長	おびし荘支配人	大田 志央	年金課主幹	保健課主幹
北出 貴範	おびし荘支配人	総務課課参事	池田 祐真	保健課主事	総務課主事